

平診九条の会

かべしんぶん

2015年4月号

(通算17号)

発行：平診9条の会

全日本民医連が3月14日

『沖縄の民意を無視した辺野古の海底ボーリング調査再開に強く抗議し、調査の即時中止と辺野古への新基地建設断念を求める』声明を発表しました。

『被爆70年』にあたって、

私は、私たちができることは？

3月24日の平診九条の会運営委員会で意見を出し合いました。

●署名活動をする。署名行動は一人ひとりの自覚にもとづく行動であり、草の根運動の原点だと思う。原水禁世界大会に代表派遣し、全国の人々と「戦争反対」の共同行動も大切。政治に関心をもとう。安倍内閣のやっていること、辺野古での政府の対応は最低だと思う。

●戦争や被爆の体験を聞くと大変なことだと思う。沖縄のひめゆり部隊の語り部が高齢になって活動ができなくなっても、次の世代がそれを伝えていく活動をテレビで見た。自分の子どもに伝えるべきことを伝えているだろうか？



被爆70年

●人から署名をもらうことは大変なこと。学生るときは、自分は無視していた。原水禁大会に参加して、広島の子どもたちは平和の教育を受けているが、自分は平和教育を受けていないと思った。友だちから平和の大切さを知らせていきたい。

それはとても難しいことだと思う。いことだと思う。

●入職したばかりで、まだ知識もないし署名活動などしたこともない。

●親子の会話って難しいことだね。

オンラインゲームをしていると、「武器を持って戦うこと」に抵抗がなくなる。平和・原発問題などにどれだけ意識をもち、平和に対して意欲をもつかが問われているのだと思う。

●「太平洋戦争の戦死者の多くは餓死だった」という雑誌を読んで衝撃的だった。原爆についてもっと学習しないとダメだと思う。「七〇年」という運動の歴史も学ばなくては。

核兵器を使う準備をしていた
ロシアのプーチン大統領の口から驚くべき発言が飛び出しました。クリミア併合に至る当時の過程で核兵器を使う「準備をしていた」と打ち明けたのです。これは許せない発言です。

●高齢者から話を聞いて、戦争の悲惨さを学んで、語り継ぐ活動が大切だと思う

●六年前に原水禁大会に参加して、被爆者の話を聞いて、その悲惨さを学んだ。今年も職員を派遣し、カンパ活動や署名活動をした。

●署名活動は大切だ。多くの職員でする必要がある。

●安倍首相の言動をみると、国民を主権者としてではなく兵隊とみている。集団的自衛権の行使を認めると、戦前と同じように国民が動員される。

変えよう！道政を

4月12日北海道知事選投票日

- ・集団的自衛権に反対
- ・TPP参加反対
- ・脱原発
- ・道民の命と暮らしを守る

「明るい会」支持の候補に投票を



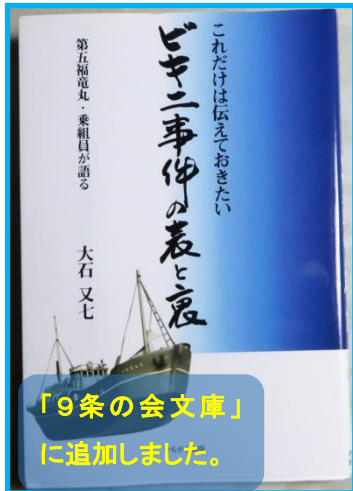
広島原爆資料館の人形

広島市の原爆資料館に展示されているやけどを負った被爆者の姿を再現した人形が、2016年度にも撤去されると伝えられています。旅行代理店のアンケートに「人形が怖いとの意見があった」ためということですが、ツイッターには「怖くて当たり前」「後世に伝えるべき」といった撤去に反対の意見が多数寄せられています。

『3・1ビキニデー』参加報告会を開催

3月16日、リハビリ室でビキニデー参加報告会が開催され職員（患者さんを含む）16名が参加しました。報告者は放射線技師・大西健児さんと事務職員・三宅翔太郎さん。北海道から7名の参加でしたが、その内2人が平診からの参加です。1954年3月1日の「ビキニ事件」の実態を詳細に報告しました。アメリカの水爆実験でその威力は広島原爆の千倍。ビキニ環礁の周辺で第5福竜丸以外に日本の漁船が千隻以上の船が被爆しています。アメリカ政府が提示された約20万ドルという「見舞金」で日本政府が手を打ち、それ以上この事件の追及をしないことを約束。第五福竜丸以外の乗組員にはなんの補償もされず、被爆認定はおろか、健康調査もされなかった。

水産庁は他の日本漁船の被爆記録の存在を拒否し続けていたが、2015年2月に被災漁船総数は1423隻と公表した。第五福竜丸ばかり注目させて、他の被害を小さく見せてビキニ事件の被害を縮小しようとすることに、人の命や健康よりも政治を優先させた日米政府に怒りを覚えた。真実を隠されることのこわさも感じた。大西さんから、第五福竜丸乗組員の大石又七さん著「ビキニ事件の表と裏」という本を「9条の会文庫」に贈呈されました。この本を読むと、「ビキニ事件」が詳しくわかります。



平診9条の会 文庫
外来待合室にあります。ご活用を！

若者がリレートーク
静岡で核兵器廃絶署名行動
青年企画署名行動の青ink(Zero)の1年企画核兵器廃絶をリンク・リンク・ゼロ。ヨロシク！が28日夜、静岡の静

北海道民医連新聞 3月12日号に
平診9条の会が紹介されました

9条の会かべ新聞」で反戦訴え

あさがおを平和のシンボルに

芦別平和診療所

憲法改悪は戦争への道
平和な日本を子どもたちに手わたそう
平診9条の会

自民、公明両党 米軍のあらゆる戦争を支援する「戦争立法」の骨格を正式な合意文書に

「平時」から「戦時」、「国際貢献」を口実とする海外派兵にいたるまで、あらゆる段階で、あらゆる場所に自衛隊派兵ができ、切れ目なく米軍を支援する体制を構築するものです。これを受け、政府は4月中旬をめどに法案作成作業に入り、5月中旬の国会提出を狙います。

憲法9条の全面的な破壊となります。「海外で戦争する国」づくりを推し進める「戦争立法」の危険な本質を少しも変えるものではありません。「自衛隊員の安全の確保」も何ら保証はありません。憲法違反を平然と進める自民・公明の暴挙は許すことはできません。